

戸塚駅東口周辺の混雑緩和に向けた取り組み状況について

1 交通社会実験の結果を踏まえた対策について

令和4年度に実施した交通社会実験では、県道203号線を対象に、横断歩道がある交差点付近の道路交通法上駐停車禁止箇所について、カラー防護柵の設置を行い、物理的に駐停車を行えないようにし、駐停車車両を減らすことで、追い越し車両のはみ出しなどの危険な運転を減らす施策を行いました。この交通社会実験の結果、反対車線へのはみ出し走行の発生件数が半分以上に減少したため、令和5年10月にカラー防護柵の常設等を行いました。



整備前 横断歩道前後で停車している様子



カラー防護柵整備後

2 上倉田交差点の右折レーン延長について

令和4年の交通社会実験実施時に、県道203号線の下り方向（戸塚駅東口→上倉田交差点）へ向かう交通において、上倉田交差点を先頭に突発的に渋滞が発生し、一般乗降場付近まで渋滞が伸びた際に、同乗降場から車両が出られなくなり、乗降場内が混雑する状況が確認されました。交通社会実験による影響と直接的な関係はないものの、一般車乗降場の円滑な利用促進を図るという観点から、対応可能な手法の検討を行いました。

分析の結果、上倉田交差点（戸塚駅東口側）において、右折信号時間が短く（約6～7秒）、多くの右折車両を処理できないという信号時間の要因はありつつも、車両の数に対する右折専用レーンの長さによる容量不足が課題であるとして確認しました。シミュレーションの結果、右折専用レーン延伸が有効であることが確認できたため、令和7年2月上旬に上倉田交差点（戸塚駅東口側）の右折専用レーンを約11m（バス1台分相当）延伸します。



右折車両による混雑の様子【奥が上倉田交差点】
（右図のケース②）



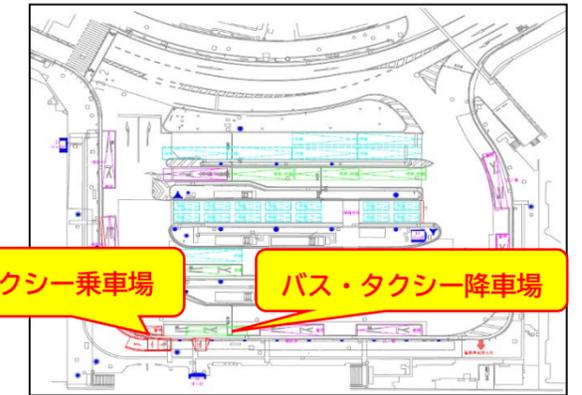
右折専用レーン延伸による効果
（広報よこはま戸塚区版12月号より）

3 県道瀬谷柏尾方面を運行するバス路線の西口移転とタクシー乗降場移転

戸塚駅東口駅前広場6番乗場に発着していた県道瀬谷柏尾方面を運行するバス7路線について、戸塚駅東口駅前広場混雑緩和への寄与が見込まれたため、令和6年7月に戸塚駅西口バスセンター4番乗場に移転を行いました。東口6番乗場跡地については、タクシー乗車場及びバス・タクシー降車場として整備を行っています。

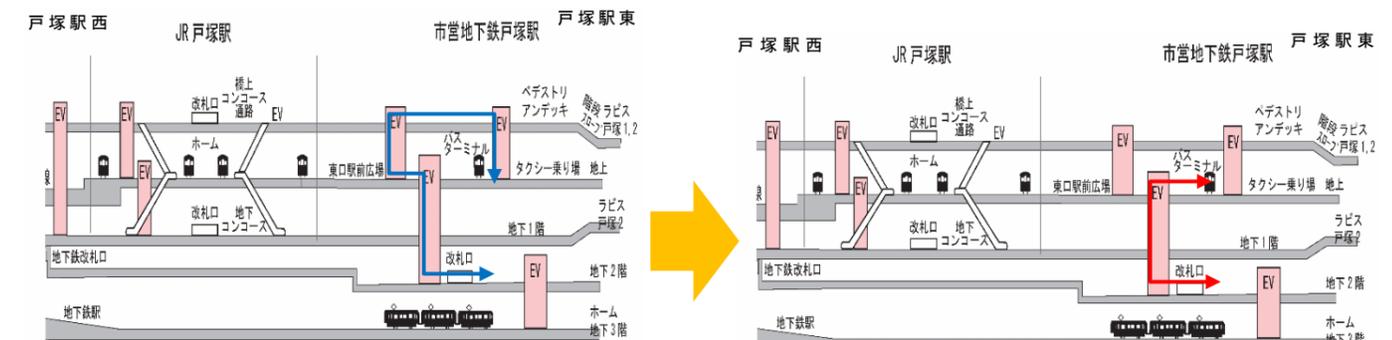


バス路線の移転



東口駅前広場整備予定平面図

これまで東口駅前広場では、地下鉄改札（地下2階）からタクシー乗車場に向かう場合、場所が離れたエレベーターを3回乗る必要があり、わかりにくく使いにくい状況でしたが、この整備を行うことで、エレベーターに1回乗るだけでタクシー乗降場へアクセス可能となり、東口駅前広場の利便性向上につながります。



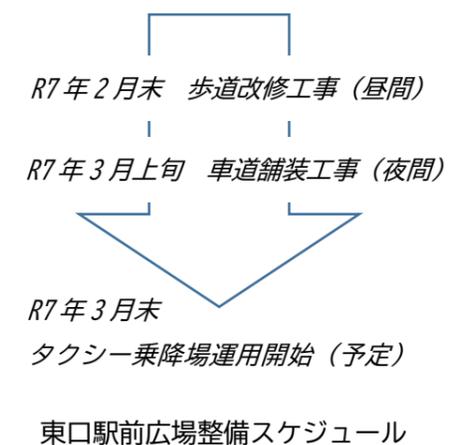
整備前 アクセスルート断面図

整備後 アクセスルート断面図

4 タクシー乗降場等整備スケジュール

東口6番乗場のタクシー乗降場整備工事について、現在工事を行っており、令和7年3月末にタクシー乗車場及びバス・タクシー降車場としての運用開始を予定しています。

運用開始の詳細が確定したら、別途お知らせいたします。



東口駅前広場整備スケジュール